

2022年8月9日

四国電力株式会社

株式会社 Sustech

Sustech が開発する電力運用プラットフォーム「ELIC」、 業界水準を上回る発電量予測精度を実現

株式会社 Sustech（代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎／以下、Sustech）は、四国電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：長井啓介／以下、四国電力）との実証実験により、分散型電力運用システム「ELIC」における発電量予測誤差を縮小し、業界水準を上回る予測精度を記録したことをお知らせいたします。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、国内外において再生可能エネルギー（以下、再エネ）の主力電源化が期待されている一方で、電力需要量及び再エネ由来の電力発電量は天候等の外部要因により予測・コントロールが難しく、安定供給の問題が課題とされています。また、電力の需給量の差によって生じるインバランスは電力供給事業者にとっての事業リスクにもなり、再エネの普及・戦力化のためには発電量予測技術の向上が不可欠とされています。

Sustech はこれらの社会課題に取り組むため、四国電力と共同で、当社が開発する分散型電力運用システム「ELIC」の太陽光発電施設における発電量予測精度の向上及びインバランスリスク低減に向けた実証実験を2022年4月より進めてまいりました。この度、当社による予測精度評価の結果、「ELIC」の発電量予測値と発電量実績値の誤差を業界水準の5～9%（※1）に対して約4～6%（※2）まで縮小することに成功いたしました。本数値は、実証開始後2ヶ月間での実績であり、今後、本格的な電源運用が必要な際にも、比較的速やかにインバランスリスク低減が可能であることも意味しております。

本結果を踏まえ、今後も対象施設の拡大及び対象電源を拡大してデータの蓄積を進めることで、予測精度の更なる向上に努めてまいります。

※1 出典：令和三年度「再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業成果報告」

※2 2022年4月～2022年5月の対象期間中、当日・日中の予測精度の結果。

■分散型電力システム「ELIC」について

脱炭素対応を進める事業者様に対し、再エネ等を用いた分散型電源の管理・運用をご支援するプラットフォームです。電力の消費・供給だけでなく環境価値として市場での取引も可能にすることで、“攻め”のエネルギー戦略をご支援し、企業及び社会の脱炭素化に貢献することを目指しております。

■会社概要

株式会社 Sustech

代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎

住所：東京都港区芝 3-1-14 5 階

設立：2021 年 6 月

資本金：4.3 億円（資本準備金含む）

HP：<https://sustech-inc.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社 Sustech 広報担当 03-6822-1050